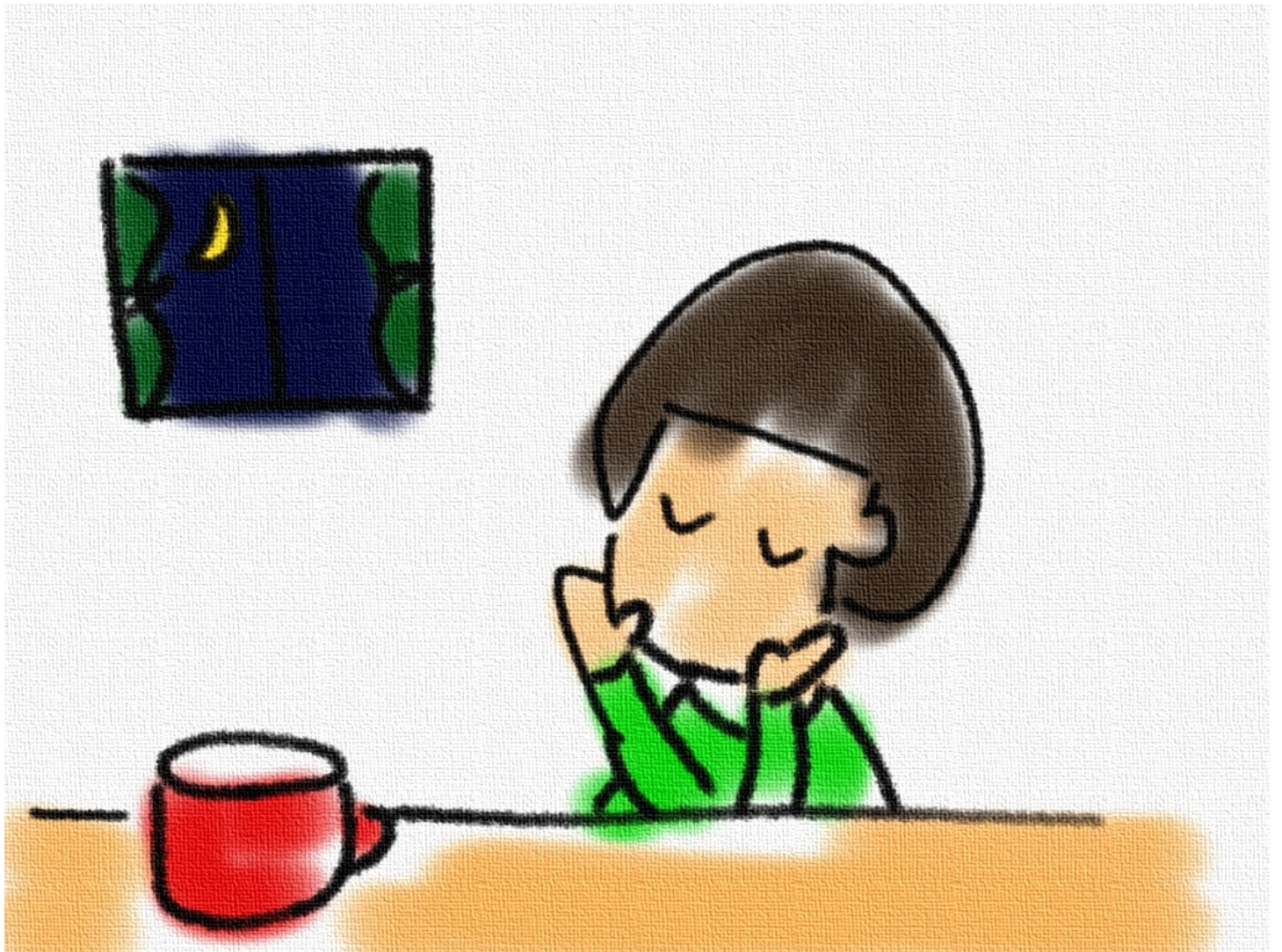


いぬのよゆうなねこ

さく： わんわん

いぬのようなねこがいた。



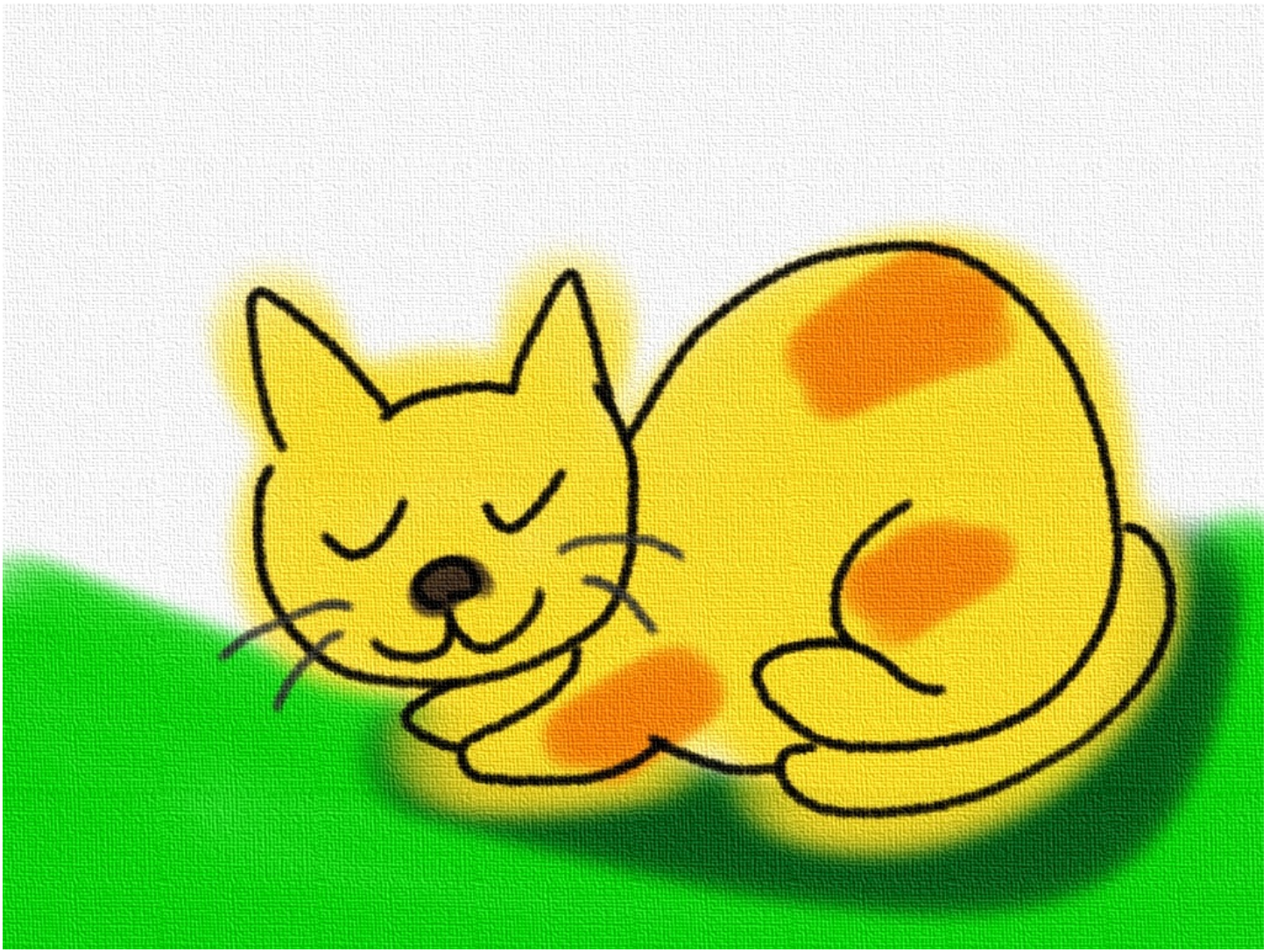
こうえんのブランコをこえて、

ジャングルジムをこえて、

シーソーをこえて、



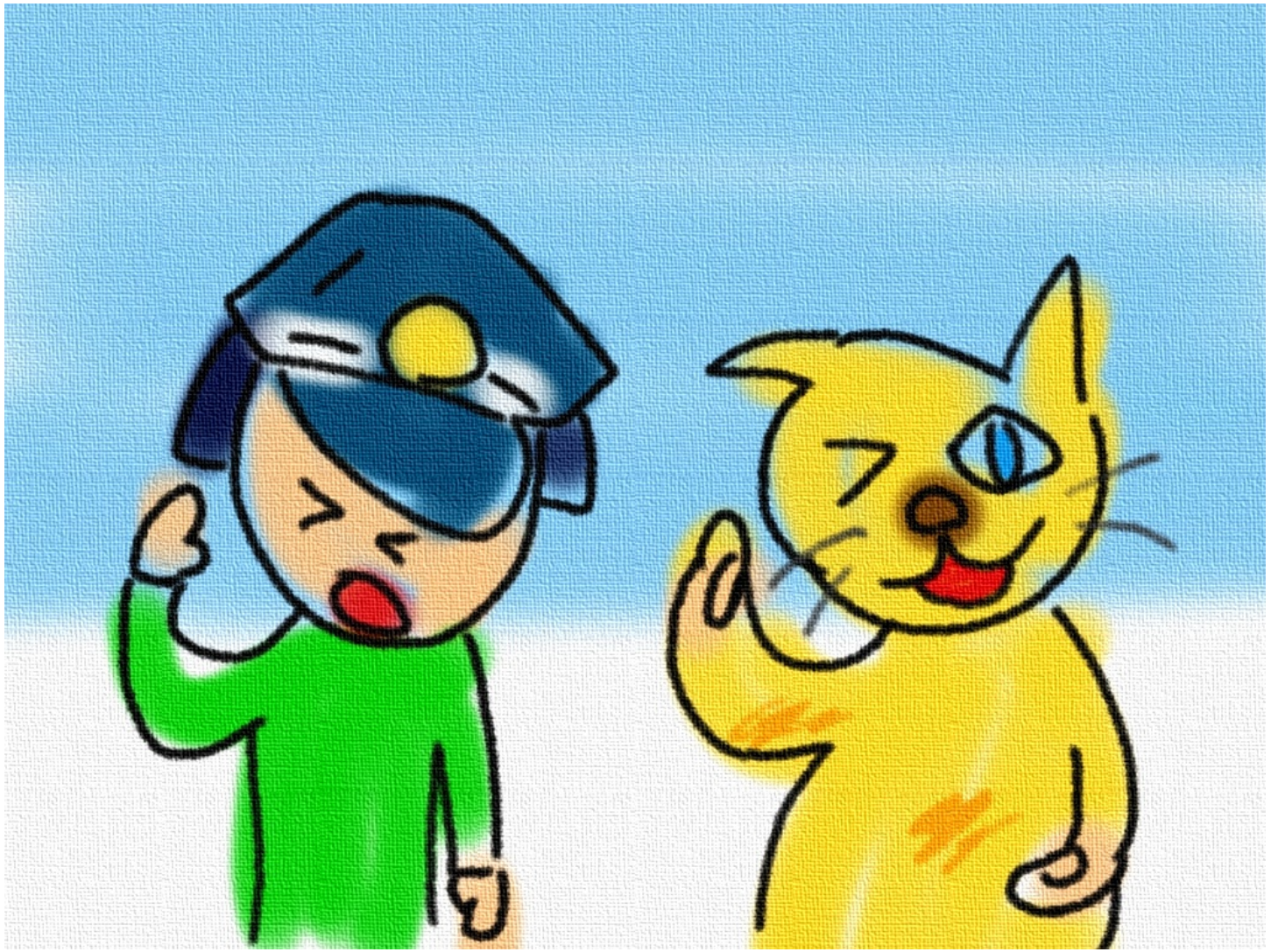
はじめて行ったばしょで、
いぬのようなねこに会ったよ。



いぬのようなねこは
とてもシャキッとしてる。



いぬのようなねこのなきごえは
みじかくてはっきりしてる。



いぬのようなねこは
ぜんぜんねないんだ。



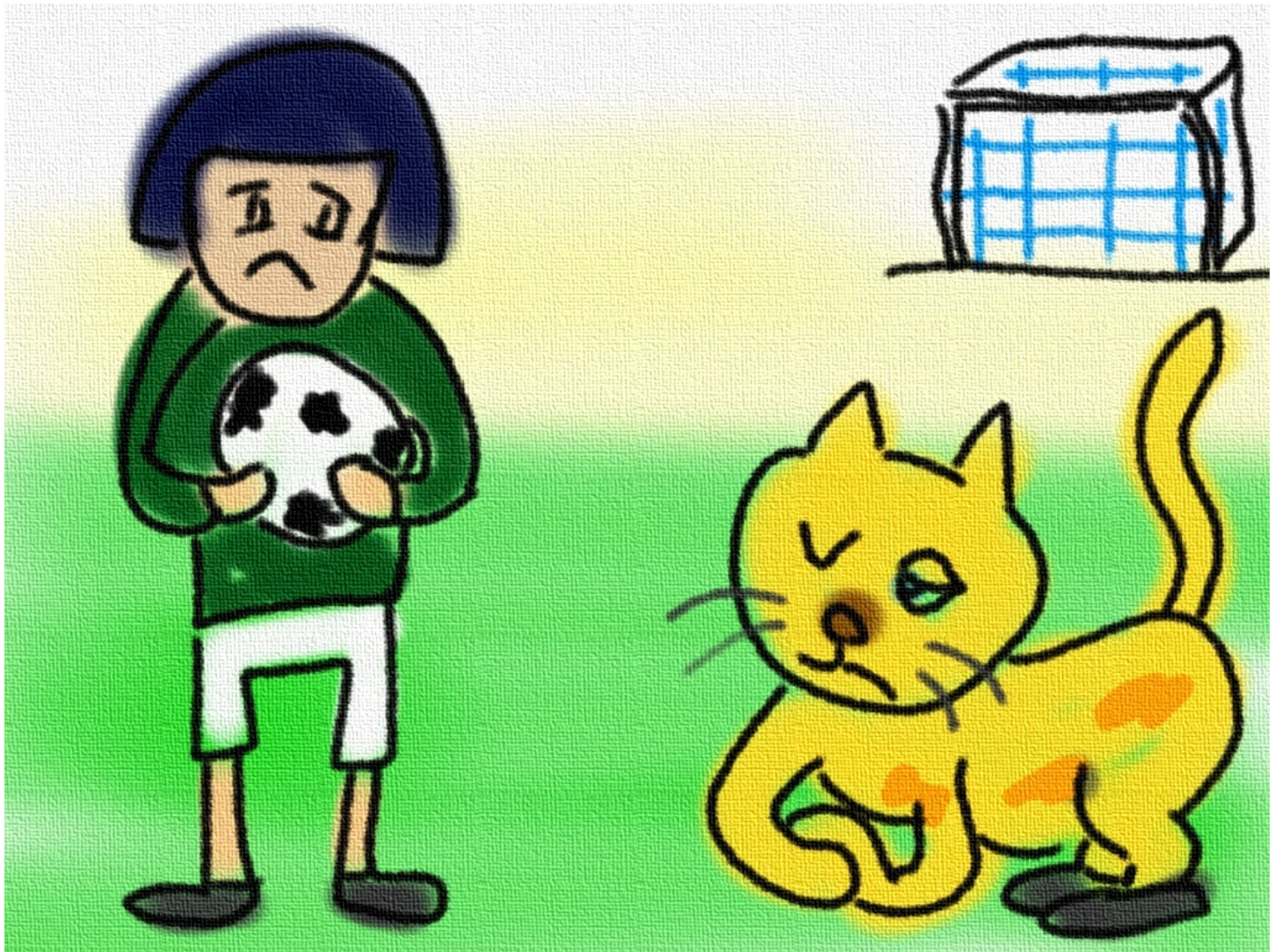
ぼくがちかづくと
ピンとうえに伸びてたしっぽが
さゆうにゆれたよ。



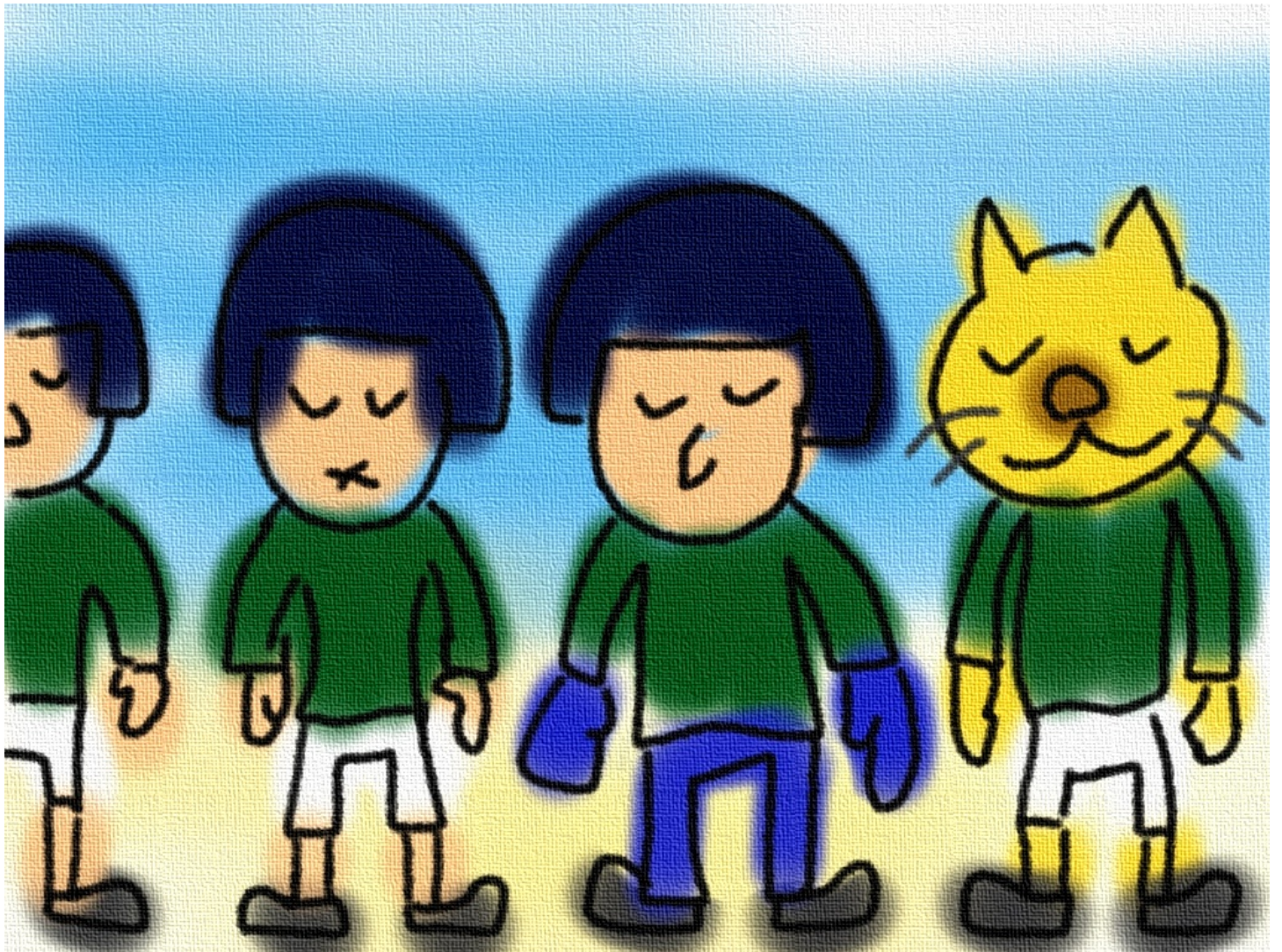
よだれがちょっと多めだけど
なんかいいやつだ。



いぬのようなねこは
ぼくのボールが気になってしょうがない。



みんなでサッカーをやっていたとき
ひとりとてもじょうずなせんしゅが
いるなとおもったら、
いぬのようなねこだった。



すごいうまいんだ。

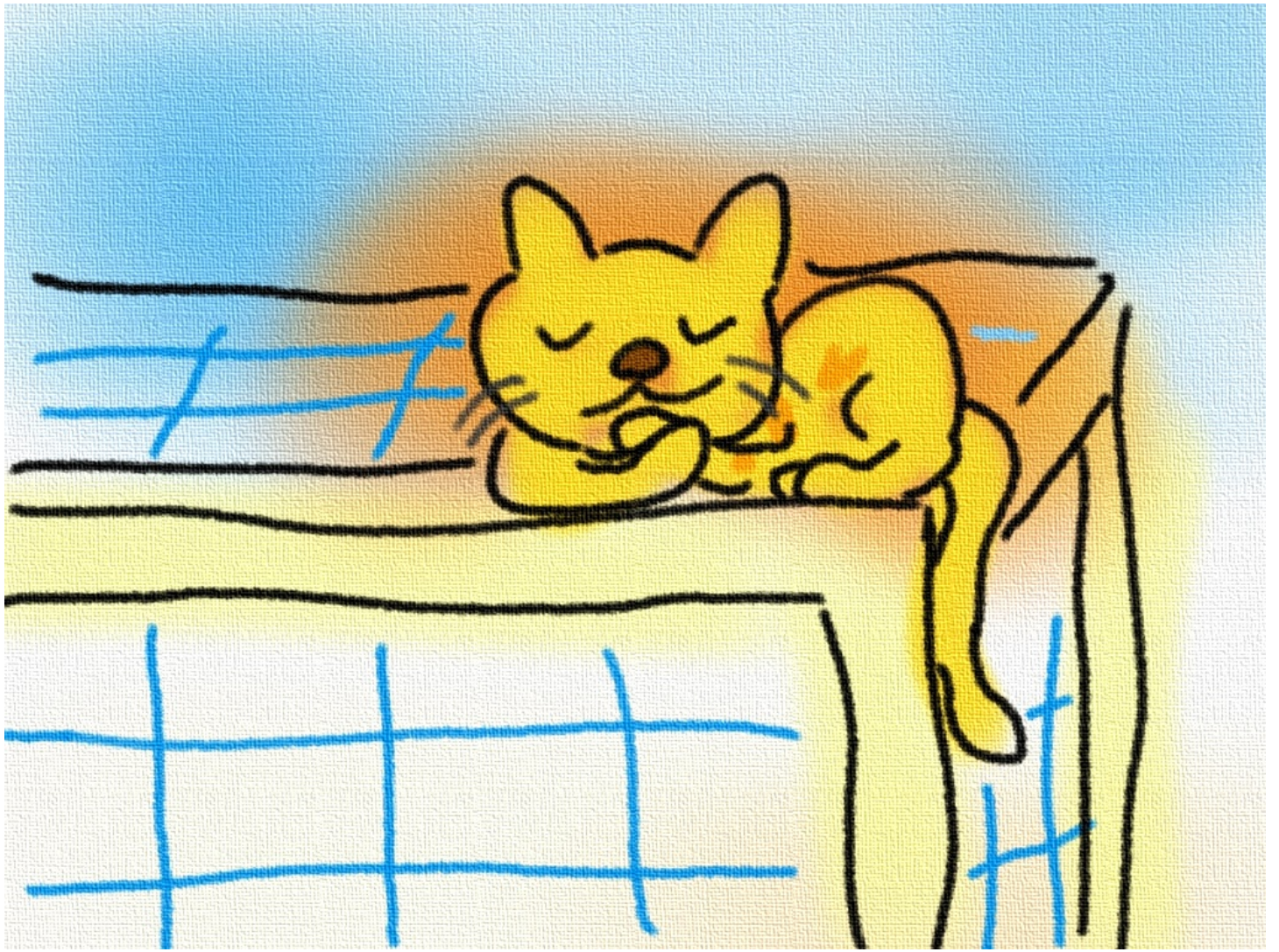
でも、たくさんはしるから
つかれて、すごくしたがでてる。



シュートを2、3本決めると
いぬのようなねこは
いつのまにかどこかにいってしまった。



たぶん、
ゴールの上で
ひるねでもしてるんじゃない。



おしまい。

いぬのようねこ

<http://p.booklog.jp/book/59067>

著者：わんわん

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/tabibit/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/59067>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/59067>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ